



みなみすな

MINAMISUNA

〒190-0003 立川市栄町 2-2-1

TEL042-525-1474 FAX042-529-0940

令和6年1月9日

学校だより1月号

立川市立南砂小学校

校長 浜中 佳規

精神一到何事か成らざらん

校長 浜中 佳規

新たな年を迎え、今年1年をより良い年にしていこうと新年の抱負を掲げて年始を過ごされたことと思います。ところが、元日には石川県能登地方で最大震度7の地震が発生し、二日には羽田空港の滑走路での衝突事故が起こり、改めて自然災害の恐ろしさや危機管理意識が重要であることを再認識した次第です。被害が心配されます。

そのような中、第100回東京箱根間往復大学駅伝競走が二日間に渡って行われました。青学大が10時間41分25秒の大会新記録で2年ぶり7度目の総合優勝を飾りました。大会前は、駒大が「1強」と言われていましたが、レースでは青学大が往路を制し、復路でも差を広げ見事に「箱根路の覇者」の称号を取り戻しました。各校の選手、また、周囲で支える人たちにはそれぞれのドラマがあり、テレビ中継を見ながら数々の感動を得ることができました。全身の力をふり絞って走る選手たちの姿からは大きな勇気を得ることができました。



大会前、青学大の原監督から今年は、「負けてたまるか！大作戦」が発表されました。これを聞いた時、ライバル校に対しての作戦と思ったのですが、アナウンスや新聞記事から次のようなことが分かりました。これは、チーム状況がどん底にあった時に浮かんだ作戦で、対象は駒大ではなく、監督自身とチームの現状であるとのこと。監督と選手が気持ちを共有して目標に向かって取り組んだことが、結果として総合優勝へとつながったのではないかと思います。

関連記事の中に、「^{せいしん}精神一到何事か成らざらん」という言葉が出ていました。意味を調べてみると「**精神を集中**して事に当たれば、どんな難しいことでも成し遂げられないことはない。」と記されていました。大学三大駅伝の、「出雲」、「全日本」を圧勝した駒大が「1強」とされても、原監督は諦めず、チームを育ててムードを一変させました。負けん気こそ原点にあり、それが選手に浸透し互いに高め合うチームが育ったのだと考えます。この言葉は駅伝に限らず、我々の日常生活、また、教育現場においても大切にしていきたい言葉であると感じました。



今日は3学期の始業式です。令和5年度最後の学期は、現学年の総まとめをするとともに、次の学年に向けての準備を進める期間となります。残された一日一日を大切に過ごしていき、令和5年度修了式、卒業式を迎えたいです。

皆様、2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月の主な行事予定

- 1月9日(火) 始業式
10日(水) 朝学習、身体測定(1・3・5年)
11日(木) 朝読書、お話玉手箱(4年)、身体測定(2・4・6年)、委員会活動、給食始
12日(金) 朝読書
15日(月) 全校朝会
16日(火) 安全指導、ユニセフ募金
17日(水) 朝学習、小学生放課後学習教室、食育(3年)
18日(木) 体育朝会、クラブ活動
19日(金) 集会、ユニセフ募金
22日(月) 全校朝会、持久走旬間始(2月2日まで)、校内書写展始
23日(火) タブレットタイム、B時程、チャレンジタイム、原爆体験語り部授業(6年)
24日(水) 縦割り集会、小学生放課後学習教室
25日(木) 体育朝会
26日(金) 朝読書、市内研究発表会のため午前授業(給食あり)
27日(土) 朝読書、学校公開(1~3時間目)、セーフティ教室
立川市民科公開講座(5年)、校内書写展終
29日(月) 全校朝会
30日(火) タブレットタイム
31日(水) 朝学習、小学生放課後学習教室



※ この他に避難訓練(予告なし)があります。



◆校内書写展について

1月22日(月)~1月27日(土) 各教室の廊下に書初めの作品を展示します。

鑑賞時間は、22日(月)~26日(金)は9時~16時、27日(土)は8時30分~11時30分となります。

◆持久走旬間について

1月22日(月)~2月2日(金)の2週間は「持久走旬間」です。中休みに音楽を流して約5分間の持久走を実施します。詳細は、後日プリントを配布いたしますので、ご確認ください。ご協力のほど、よろしくお願いします。

◆立川市民科公開講座について

1月27日(土)の学校公開の9時から10時に体育館で立川市民科公開講座を行います。

5年生が、地域の農家の方に野菜作りを教わり、実際に育てながら立川の農業について学んだこと、そこで考えたことを発表します。

5年生の保護者の方はもちろん、その他の皆さんにもたくさんの方にご参観いただけたらと思います。